



1月25日(土)にふれあいスポーツセンターにてスポーツ指導者講習会が開催されました。この講習会は、氷見市体育協会スポーツ医・科学委員会とスポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブふれんずの合同で行われ約100名の方々が参加されました。講師には日本体育大学体育学部体育学科准教授の梶規子先生をお招きして「ケガの予防とストレッチ」と題し、講演をいただきました。体のコンディションを整えるためには水分補給がとても重要であることや、自分の身体の特徴を把握しておくことでケガを未然に防ぐことにつながるなど、実技を通して詳しく教えていただきました。参加者の皆様も今後のスポーツ活動に活かしていける、とても参考になった講習会だったのではないかと思います。

受賞された皆さまおめでとうございます!

令和元年度 公益財団法人氷見市体育協会表彰 (令和元年4月～11月の大会)

特別功労賞「国際大会及びアジア競技大会」		荒木 純(監督)	第74回国民体育大会 バドミントン競技 成年男子の部 優勝
男子日本代表 坂 直哉 朝野 輝英(氷見高校) 小島 来生	第27回日韓中ジュニア交流競技会 ハンドボール競技 3位	表彰状「各種全国大会」	
特別表彰「国体及び全日本選手権大会」		「颯」 宮内 宏文 岡峯 和人 宮前 善廣 山下 直樹	第36回全国ビーチボール大会 男子40歳以上の部 3位
窪スポーツ少年団 ハンドボール部	第32回全国小学生ハンドボール大会 男子の部 準優勝	瀧元 結女	第64回全国教職員卓球選手権大会 女子団体 優勝 女子ダブルス 優勝
比美乃江ハンドボール クラブ	第32回全国小学生ハンドボール大会 女子の部 3位	「県民体育大会」2部 中学の部 優勝	
氷見市立北部中学校	第48回全国中学校ハンドボール大会 男子の部 3位	氷見市選抜	ハンドボール 中学男子
最上 想生(北部中学校)	第30回全国都道府県中学生相撲選手権大会 個人軽量級 優勝	氷見市選抜	ハンドボール 中学女子
神代 和久	第12回全国社会人クラブバドミントン大会 50歳以上男子ダブルス 優勝 合算100歳以上混合ダブルス 準優勝 日本スポーツマスターズ2019バドミントン競技 男子団体 準優勝	氷見市	卓球 中学女子
		「県民体育大会」2部 一般の部 優勝	
		氷見クラブ	バレーボール 一般女子
北原 鶴美	第12回全国社会人クラブバドミントン大会 55歳以上女子ダブルス 優勝	氷見クラブ	ゲートボール 一般女子
		石丸 優香	水泳 50m背泳ぎ
		西川 敦志	水泳 50m平泳ぎ・50m自由形
「県民体育大会」3部 優勝		「県民体育大会」3部 優勝	
氷見ハンドボールジュニア	ハンドボール 児童男子	氷見市	卓球 児童男子(学童カブ)

2020年度(2020.4月～2021.3月) 【主なスポーツ行事予定】

春
4月～6月

第69回氷見市民体育大会

中心会期 5月23日(土)～24日(日) 中学の部
6月27日(土)～28日(日) 学童・一般の部

夏
7月～9月

第73回県民体育大会

中心会期 7月25日(土)～27日(月) 県内各地

第41回北信越国民体育大会 ハンドボール競技

8月21日(金)～23日(日) 氷見スボ

秋
10月～12月

第75回国民体育大会秋季大会

10月3日(土)～13日(火) 鹿児島県

第42回氷見シーサイドマラソン大会

10月11日(日) 氷見漁港周辺

2020スポーツ健康まつり

10月24日(土) 氷見スボ

日本ハンドボールリーグ

10月25日(日) 氷見スボ

第17回氷見キトキトウオーキング

11月7日(土)～8日(日) 氷見スボ発着

冬
1月～3月

第44回北信越高校選抜大会 ハンドボール競技

2月5日(金)～7日(日) 氷見スボ

第33回齋藤弥九郎顕彰碑建立記念少年剣道大会

3月13日(土)～14日(日) 氷見スボ

第16回春の全国中学生ハンドボール選手権大会

3月25日(木)～29日(月) 氷見スボほか

氷見市のスポーツ情報はここで検索!!

氷見市スポーツポータルサイト

検索 クリック!!



公益財団法人 氷見市体育協会

〒935-0025 氷見市鞍川43-1 TEL 0766-74-8500
http://www.sports-himi.jp/



2019スポーツ健康まつりにて



スポーツの持つ力

公益財団法人 氷見市体育協会 会長 高木 俊幸

市民の皆様には、日頃より氷見市の体育、スポーツの発展・振興にご支援並びにご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

2020年東京五輪・パラリンピック大会は新型コロナウイルスの影響により、来年に延期となりました。そんな暗いニュースが多い中、大相撲では富山県出身の朝乃山が県出身力士として111年ぶりとなる大関昇進を果たすという大変明るいニュースもありました。

スポーツには世界と未来を変える力があります。当協会では、多くの方が生涯にわたりスポーツを親しむ事ができる機会を提供していくことや、生涯スポーツの底辺となるジュニア層の拡大を目的としたジュニア育成事業やシニアスポーツ促進など、様々な事業に取り組んでいるところです。

今後も加盟団体の皆様と一体となって各種事業に取り組み、スポーツを通じ、活力と笑顔があふれる氷見市を目指すとともに、より一層市民の皆様から親しまれる体育協会を目指し、努力してまいります。終わりにになりましたが、市民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、挨拶といたします。

2019 スポーツ健康まつり

10月26日(土)氷見市ふれあいスポーツセンターにて「スポーツ健康まつり」を開催しました。オープニングでは、オリンピック種目であるトランポリンの技を日本スポーツ協会公認操トランポリンコーチの常川智子さんが、説明しながら披露してくださいました。



トランポリン

今年は、測定コーナーを充実させ、骨密度、血管推定年齢の他、足裏バランスや動体視力測定、肺機能測定、体組成測定など多くの機器を用意し、アドバイスコーナーも設けました。今、自分がどのラインにいるのか、足りないことはどんなことなのかのわかる内容であったため、多くの方が今後の運動や生活習慣について質問していました。



車いすバスケット

また、オリンピック競技に合わせたふれスポオリジナルの5種競技の合計得点を競うふれスポオリンピックを開催。バスケットボール競技では、パラリンピック種目である車いすバスケットを体験。県車いすバスケットボールクラブ所属で、U-23の強化指定を受けている寺内一真選手から、車いすの操作方法を教わりながらゴールまでボールを運びシュートに挑戦していました。

氷見発祥のゆるスポーツ「ハンギョボール」の大会では、小学生チームから社会人チームまで幅広い年齢の方が参加し、好プレーには拍手や歓声があがり、珍プレーでは参加選手も観客も大爆笑！大いに盛り上がった大会となりました。

その他の体験コーナーにも多くの方が訪れ、体を動かす楽しさを体験し、健康について考える良い1日になりました。

※ふれスポオリンピック5種競技(ゴルフ・サーフィン・クライミング・バスケットボール・陸上競技をアレンジ)

全国大会入賞報告

3位 北部中学校野球部

第19回全国中学生都道府県対抗野球大会
開催日：令和元年11月2日(土)～5日(火)
開催地：静岡県伊豆市志太スタジアム他

- 1次リーグ 1-0 伊豆少年野球団(静岡)
- 2-0 大和クラブ(奈良)
- 決勝トーナメント
- 1回戦 4-0 オール岐阜(岐阜)
- 準決勝 3-5 岩手県選抜(岩手)

()は県名



団体3位 富山県 山本大翔

(久目バドミントンクラブ)

第18回日本バドミントンジュニアグランプリ2019
開催日：令和元年12月6日(金)～8日(日)
開催地：栃木県宇都宮市体育館他

- 予選リーグ 2-1 北北海道
- 3-0 秋田
- 決勝トーナメント
- 1回戦 2-0 鹿児島
- 準決勝 0-2 埼玉



写真左から3番目山本さん

氷見出身者の活躍 Part5

宮下 毅

10月27日(日)に開催された第5回富山マラソンの年代別男子50歳代で、宮下毅さん(54歳、インテック)が優勝しました。第1回・第2回大会でも年代別優勝を果たし、今回が3度目という快挙です。

このほか、別府大分毎日マラソンなど、年間3回ものマラソンを走りきるのは、日々のたゆまぬ鍛錬の成果だと思えます。宮下さんの益々の活躍を期待しています。

私が走り始めたのは30歳の時です。ニューヨーク赴任を機会に肥満を解消するのが目的でした。

氷見南部中学校、氷見高校時代はハンドボール部に所属し、激しい練習をこなしていましたので、そこそこ走れると高を括っていたのですが、最初の頃は全く走れませんでした。

マラソンは奥の深いスポーツです。速く走ろうとすればするほど、身体に無駄な負荷がかかり、走れないものです。反対にここにゆとりを持ってゆっくりとしたペースで走り続けると誰でも自然に速く走れるようになります。私は毎朝、ゆっくり1時間走る習慣を25年間続けています。

これまでオリンピック選手選考会の福岡国際マラソンなど、たくさんの大会に出場してきましたが、やはり、生まれ育ったふるさとで走る富山マラソン、窪の元旦マラソンが一番好きです。

美しい立山連峰の景色に子供の頃の心象風景を重ねながら、いくつになっても、「ふるさと」富山、氷見で元気に走り続けたいと思います。(宮下 毅)



浦野 雄平

2月22日(土)に福岡県で第103回日本選手権クロスカントリーが開催されました。

氷見出身の浦野雄平さんがシニア男子10kmに出場、29分18秒でゴールし初優勝を飾りました。

また、浦野さんは2017年から2020年まで國學院大学の選手として箱根駅伝を走っており、昨年の大会では5区で区間新記録を達成し区間賞を獲得しています。

浦野さんは國學院大学を卒業後、陸上実業団の強豪である富士通に入社し競技活動をしています。

今後の活躍にも期待したいと思います。

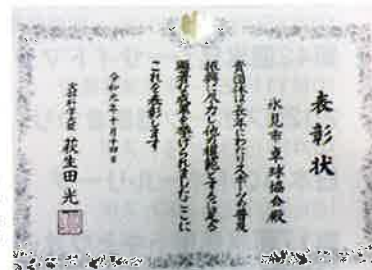
写真1番左浦野さん▶



加盟団体紹介

卓球協会

令和元年10月『生涯スポーツ優良団体』として文部科学大臣表彰を受賞いたしました。昭和23年設立以来、社会貢献の一環として継続してきた『卓球文化』



の普及活動を認めていただけたものと思っています。

これからも、初心者・愛好者への普及事業、ジュニアへの強化事業と共に、中高齢者の健康寿命延伸の一助となるよう活動を続けていきたいと思っています。

最近は大きく軽いボールを使い、初心者でもラリーが続くラージボールも盛んになっています。幼児から高齢者まで交流できる生涯スポーツとして卓球に親しみ、競技スポーツとしても卓球に取り組んでもらえれば幸いです。

レクリエーション協会

レクリエーション協会は、昭和58年4月に発足しました。当協会ではレクリエーション活動を通して、生きがいづくり、健康・体力づくり、仲間づくり、町づくり、環境づくりを目指し様々な事業を展開しています。ニュースポーツの普及や基盤づくり、生涯スポーツの提言、小学校親子活動でのレク指導のほか、高齢者の健康寿命を延ばし生きがいのある生活をテーマに



市内数か所で『健康ひろば』の指導も行っています。あなたも一緒に活動してみませんか。